

【様式】

令和5年度 政務活動一覽

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
	4月27日 13:30~ 17:30	鳥取県日南町霞 785	日南町総合文化センター	日南芝生化プロジェクトチーム 総勢10名	イベント広場の芝生化関連会議	0409
	5月2日 12:00~ 16:00	鳥取県北栄町 由良宿489-2	ファミリー・インターナショナル・ジャパン	代表フーミン氏 などスタッフ5名	香港からの映画関係者誘致に関する協議	0502
	5月2日 17:00~ 18:40	鳥取市吉成南 1-25-3	みやび合同会社	代表 牛尾英治氏	介護サービスに関する協議	0502
	5月6日 9:30~ 12:10	鳥取県江府町 御机 837-13	エバーランド 奥大山	奥大山自然塾長 白石祐治町長	奥大山自然塾開校式に出席	0503
	5月10日 19:00~ 20:40	鳥取市尚徳町 101-5	とりぎん文化会館梨花ホール	講演会 講師:田村淳氏	東部中小企業青年中央会主催の講演会	0412
5月11日 ~12日	5月11日 14:15~ 5月12日 13:20	東京都千代田区 霞が関2-1-3 ほか	中央合同庁舎 3号館 新宿住友ビル 三角広場	国交省副大臣 石井浩郎氏 自転車モビリティまちづくり博	活動報告の とおり	0504 0506
	5月18日 11:30~ 15:10	鳥取県日南町 下阿毘縁 478 ほか	日南ゆきんこ村 日南町役場	(株)アシスト 代表西村恵輝氏 日南町副町長 角井学氏	芝生化 PR 動画 出演 角井副町長と 面談	0507
	8月23日 11:00~ 15:00	兵庫県豊岡市 日高町東河内 608-2 ほか	神鍋高原西気コミュニティセンター ほか	日高神鍋観光協会岡藤泰明会長 ほか	活動報告の とおり	0808
	9月30日 9:30~ 13:00	鳥取県日南町霞 785	日南町総合文化センター	中村英明町長 ほか町民200名	イベント広場 芝生化完成式典 出席	0906
11月8日 ~10日	11月8日 14:30~ 11月10日 11:30	長野市南長野 幅下 692-2 長野県白馬村 岩岳エリアほか	長野県庁 岩岳エリア 長野市役所 等	岩岳リゾート 氏 ほか	活動報告の とおり	1001 1101~ 1004
	11月15日 13:10~ 16:45	東京都千代田区 永田町2-1-1 ほか	参議院議員会館 衆議院議員会館 ほか	地元選出 国会議員 内閣府参事官	活動報告の とおり	1105
	11月16日 13:00~ 17:10	鳥取県大山町 小竹1291-1 鳥取県琴浦町 松谷606ほか	鳥取県食肉センター 鳥取県 畜産試験場ほか	食肉センター& 畜産試験場職員 及び大山乳業 関係者	畜産議連の視察 3施設の関係者 と意見交換	1106

	11月24日 13:30~ 16:30	鳥取県八頭町 見槻中154-2	隼ラボ	マニフェスト研究会 北川正恭氏	地方議会をテーマにした講演会	1112
	11月23日 10:30~ 11:30	東京都千代田区 永田町1-7-1	衆議院第1議員 会館ホール	山陰近畿自動車 道整備促進決起 大会 200余名	活動報告の とおりに	0106

活動報告(県外)

議員名: 福浜 隆宏

活動事項	サイクルツーリズム推進に関する国要望 等
活動年月日	① 令和5年5月11日(木) 14:15~14:45 国要望 ② 16:50~17:20 電動モビリティ博 下見 // 5月12日(金)10:00~12:00 電動モビリティ博 視察 ③ 12:40~13:20 夢の島マリーナ 視察
場 所	① 東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎 3号館 ② 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル三角広場 ③ 東京都江東区夢の島三丁目 2番1
活動の相手方	① 国土交通副大臣 石井 浩郎氏 道路局官房審議官 久保田 誉氏 ② 自転車電動モビリティ博 実行委員長(株)ライジング出版 高木賢氏 ③ 東京夢の島マリーナ 管理運営 スバル興業 担当者
活動の目的	① 本県の「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート(NCR)指定に向け、走行環境や受入環境の整備を加速させるため、一層の国の支援を要望。 ② 自転車や電動モビリティを活用した環境に優しい街づくりを目指す。 ③ 障がい者ヨット「ハンザ」用の昇降機の本県での整備を目指す。
活動の内容	① 石井国交副大臣に対し、NCR 指定への国支援を求める要望書を手渡し、その後、久保田官房審議官にも同趣旨の要望書を提出し意見交換を行った。 ② 最新の各種電動モビリティを実際に試乗し、関係者と意見交換を行った。 ③ 「ハンザ」用昇降機が設置されているマリーナで関係者から聴き取りを実施。
活動の結果等	① 要望に関し、石井副大臣からは全面的に応援したいと、極めて前向きなコメントが得られた。自転車を活用した活性化は、副大臣の地元の秋田でも取り組まれており、同じ日本海側で連携する事に関しても意見が一致。久保田審議官からも本県西部エリアでの商工会を柱にした取組が評価され、NCR 指定に向けた国支援の一層の拡充に対し、理解していただいた感触を持った。今後の環境整備への後押しになる要望活動になったと考える。 ② 山梨県と山梨大学が参画する「水素燃料電池」を使ったアシスト自転車は、従来のバッテリーサイクルと比較して軽量かつ速度も速く、短時間チャージも可能。また災害時対応電動車両 ELEMOMO と合わせて本県への導入に向けて、施策提案したいと考えている。 ③ 障がい者ヨット「ハンザ」については、子どもや高齢者、初心者にも乗りやすいと評価されていて、障がいの有無に関わらずヨットを楽しめる環境整備に向けて、境港マリーナや鳥取港への導入について県に提言したい。
関連領収書番号	0504, 0506

活動報告(県外)

議員名: 福浜 隆宏

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議連 総会・現地調査 (貸切バスを利用せずマイカー参加のため報告)
活動年月日	① 令和5年8月23日(水)10:00~11:00神鍋地域おこし関係者と意見交換 ② " 13:00~15:00山陰海岸ジオ議連総会出席
場 所	① 兵庫県豊岡市日高町東河内 608-2 神鍋高原西気コミュニティセンター ② " 中央町 2 番 4 号 豊岡市役所
活動の相手方	① 日高神鍋観光協会 岡藤泰明会長 NPO 法人かなべ自然学校 関係者 ② 山陰海岸ジオパーク三府県議、三府県職員、山陰海岸ジオパーク事務局
活動の目的	① 温暖化による降雪量激減によりスキー場存続が危ぶまれる神鍋高原での『雪みらい100年宣言』の行動指針について見識を深める ② 同議連の総会開催 世界ジオパークネットワーク認定更新に向け課題対応の意見交換
活動の内容	① 観光協会と自然学校双方の関係者から『雪みらい100年宣言』を構想した経緯や背景、行動指針について説明を受け、意見交換を行った。 ② 同議連総会で令和4年度の事業報告と決算、令和5年度の事業計画と予算案が提案され、全会一致で承認。その後、山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク認定審査に向け意見交換を行った。
活動の結果等	① 雪不足、宿泊客減少、担い手減少という3重苦に見舞われている神鍋高原の関係者が、100年後もスキー場を持続可能にするべく、「カーボンニュートラル」と「自然の再生・活用」を軸に、冬季だけでなく年間を通じた「持続可能なツーリズム」を打ち出し、『雪みらい100年宣言』として行動計画をまとめた。これは氷ノ山・大山を抱える本県においても共通する事項であり、本県や関係市町と民間が連携して同様の取組を進めるべきであり、その第一歩として県施策に反映できるよう提言していきたい。 ② 再認定に向けて「イエローカード」が出されている現状において、大きなネックになっている玄武洞近くでの岩石販売の件は、当事者との間で継続的に話し合いが続いており、歩み寄りの兆しが見えつつあるとの感触を受けた。しかし、具体的な課題解消の道筋は見えていない。兵庫県だけではなく、エリア全体の問題として向き合うことが必要。また、責任主体を明確にするため、組織体制の法人化は避けて通れない課題であり、この件に関しても関係三府県の自治体がスピードを上げて取り組むよう働きかけを強めていきたい。
関連領収書番号	0808

活動報告(県外)

議員名: 福浜 隆宏

活動事項	長野県白馬エリア現地調査・長野市長表敬・長野県国体関係レク
活動年月日	① 令和5年11月 8日(水)14:30~16:00長野県庁 スポーツ合宿取組等 ② 11月 9日(木)10:30~11:40白馬岩岳エリア現地調査 ③ 13:00~13:50スノーピーク白馬 現地調査 ④ 14:00~15:40岩岳マウンテンR 現地調査 ⑤ 16:10~17:00白馬村役場 スキーモ聴き取り ⑥ 11月10日(金)10:00~11:30長野市 国体関係聴き取り等
場 所	① 長野県長野市南長野幅下692-2 長野県庁 ② 長野県白馬村北城新田10846 岩岳エリア民宿・古民家再生 ③ // 北城5497 スノーピーク ランドステーション白馬 ④ // 北城12056 岩岳マウンテンリゾート ⑤ // 北城7025 白馬村役場 ⑥ 長野県長野市鶴賀緑町 1613 長野市役所
活動の相手方	① 長野県 観光誘客課 山田むつみ課長補佐 スポーツコミッション担当 // 健康増進課 井澤紀子課長補佐 ACE プロジェクト担当 ② 岩岳リゾート 前代表取締役 ████████ 氏 ③ スノーピーク ランドステーション白馬 店長 古山真道氏 ④ 岩岳リゾート ████████ 氏 (現地案内) ⑤ 白馬村観光局 ████████ 氏、スキーモ普及員 ████████ 氏、██████ 氏 ⑥ 荻原健司長野市長 長野市 国スポ・全障スポ推進課 高池正之課長
活動の目的	① 長野県の合宿誘致に関する「スポーツコミッション」の取組調査 長野県の健康増進に関する「ACE プロジェクト」の取組調査 ② 岩岳エリア民宿街再生プロジェクトに関する聴き取り ③ スノーピーク国内初の景観を活かした路面店開設に関する聴き取り ④ 岩岳スキー場の年間リゾート開発に関する現地調査 ⑤ スキーモの普及啓発に関する聴き取り ⑥ 国民スポーツ大会準備に関する聴き取り 以上6点の調査を通じて得られた情報や知見を本県施策に反映させる
活動の内容	① 両課の課長補佐より取組を聴き取り、質疑や意見交換を行った ② ████████ 氏による白馬リゾート構想と具体の行動を聴き取り意見交換を行った ③ 初の景観重視路面店設立の経緯や意図、来場者数など聴き取りを行った ④ 標高1300m岩岳山頂への有名ベーカリー招致や大型ブランコ整備など ゴンドラで山頂まで上がり現地調査をしながら聴き取りを行った ⑤ スキーモとは? から始まり普及や選手育成に関して聴き取りを行った ⑥ 2巡目国体への課題を施設面やスタッフ確保、選手強化等を聴き取った
活動の結果等	① 合宿誘致、健康増進の先進県だけに大いに参考になり、本県に提言する。 ② 民間主導の「まちおこし」に驚嘆。本県でどう進めるか、協議したい。 ③ 47都道府県で同様の路面店を検討中とのこと。本県への誘致を図る。 ④ 誘客の「仕掛け」の大切さを痛感。スキー場や花回廊等での展開を検討する。 ⑤ 行政と民間でタッグを組んでの普及・強化は注目に値。本県に反映させたい。 ⑥ 各競技の開催地決定が予想以上に難航。本県でも同様の懸念あり注視する。
関連領収書番号	1101 1102 1103 1104 1001

活動報告(県外)

議員名: 福浜 隆宏

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会 国要望活動
活動年月日	令和5年11月15日(水) 13:10~16:45
場所	東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院議員会館2と1 東京都千代田区永田町 1-6-1 中央合同庁舎第8号 内閣府
活動の相手方	要望先 ① 舞立参議 ②青木参議 ③谷合参議 ④石破代議士 ⑤赤澤代議士 ⑥ 谷代議士 ⑦竹内代議士 ⑧二階代議士(秘書) ⑨本田代議士 ⑩ 齋藤代議士(秘書) ⑪藤井参議 ⑫内閣府 白水参事官
活動の目的	山陰海岸ジオパークの再認定審査に向けての国支援と観光客の利便性向上に資する公共交通の維持、山陰近畿自動車道の早期整備等を要望。併せて推進のための国からの補助金を要望。
活動の内容	三府県選出の国会議員と内閣府に対し、山陰海岸ジオパークの再認定審査が滞りなく了承されるよう、国を挙げた支援体制の構築を要望した。
活動の結果等	山陰海岸ジオパークについては、本審査に向けて「イエローカード」が出されている現状。その課題解決に向けて三府県と関係自治体が必死に取り組んでいるものの、国を挙げての支援体制が明確化しておらず、国の受け止めと立ち位置をはっきりさせる狙いがあった。 併せて三府県にまたがるだけに、国の補助金が受けにくい状況にあることへの理解と観光客の利便性向上のため、鉄道維持や高速道路の早期整備に関する要望も行った。 再認定審査前という極めて重要なタイミングでの要望活動により、地元が抱える危機意識を国と共有できた意義は小さくないと考える。 しかし、再認定を勝ち取るまでは予断を許さない緊迫した状況が続くだけに、今後も山陰海岸ジオパーク推進に向けて地元と国がタッグで取り組んでいく体制の構築が望まれ、法人化へのスピードアップやインバウンドの観光客に対する受け入れ体制強化を含め本県への提言を行っていきたいと考えている。
関連領収書番号	1105

活動報告(県外)

議員名: 福浜 隆宏

活動事項	山陰近畿自動車道整備促進決起大会への参加
活動年月日	令和6年1月23日(火) 10:30~11:30
場所	衆議院第1議員会館1階 多目的ホール
活動の相手方	国交省加藤政務官、地元選出国會議員、関係自治体首長、経済界関係者等
活動の目的	関係自治体、議員、経済界など三府県の関係者200名余が一堂に会し、山陰近畿自動車道の早期整備に向け国要望を行う。
活動の内容	主催者である国會議員の会の石破会長が開会の挨拶を行った後、来賓である加藤国交省政務官が挨拶。続いて三府県を代表して、京都府の西脇知事、兵庫県の斎藤知事、鳥取県の平井知事がそれぞれ挨拶を行い、国へ要望書を手渡し。その後、地元関係者が整備促進に対する意見発表を行った。
活動の結果等	<p>挨拶の中でひととき注目されたのは平井知事のコメント。「能登は他人事ではない。なぜ後回しにされ続けなければいけないのか。我々はこの度の震災を契機に改めて声を強めたい」と、いつになく語気を荒げて訴えられた。</p> <p>まさしくその通りで「一体いつまで待たされるのか・・・？」しかも高速道路ではなく、高規格道路での整備。能登で起きた津波や孤立集落の発生は、同じ日本海側に住む我々としても「我が事」という意識を強く持ち、我慢は限界という姿勢で国に訴えるタイミングに来ていると考える。</p> <p>南海トラフ地震の発生が危惧される中だけに、太平洋側が壊滅状態に陥る事を見越した日本海側の振興が不可欠であり、目先の課題だけに囚われない中・長期的な視点で引き続き国要望を行っていく必要性を痛感した。今後も、当自動車道整備に限らず、日本海側の振興策を国に求めていきたい。</p>
関連領収書番号	0106